週間感染症情報

2018年37-38週　2018年9月10日より2018年9月23日まで

	37週	38週
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	2
ﾑﾝﾌﾟｽ(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	1	4
手足口病	5	17
ﾍﾙﾊﾟﾝｷﾞｰﾅ	1	2
伝染性紅斑	25	23
感染性胃腸炎	14	8
ロタウイルス(再掲)		
便ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ(再掲)		
突発性発疹	5	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	11	15
ヘルペス性口内炎		
ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ感染症	5	4
RSウイルス感染症	14	17
マイコプラスマ感染症	1	1
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(臨床診断含む)		1
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞA		1
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞB		
ﾋﾄﾒﾀﾆｭｰﾓｳｲﾙｽ		

朝晩涼しくなりました。イネ花粉症は終わったようです。感冒症状の症例が増えてきました。

手足口病は、市内の保育園で流行しています。

伝染性紅斑は市内全域で流行しています。下のグラフのように10年ぶりの大流行です。幼児から小学生までが流行中心で、保護者のり患もあります。流行期間は半年ぐらいですので、まだしばらくは流行は続くと思われます。

37週の感染性胃腸炎、エルシニア、カンピロバクター、サルモネラO4の報告が1例ずつありました。

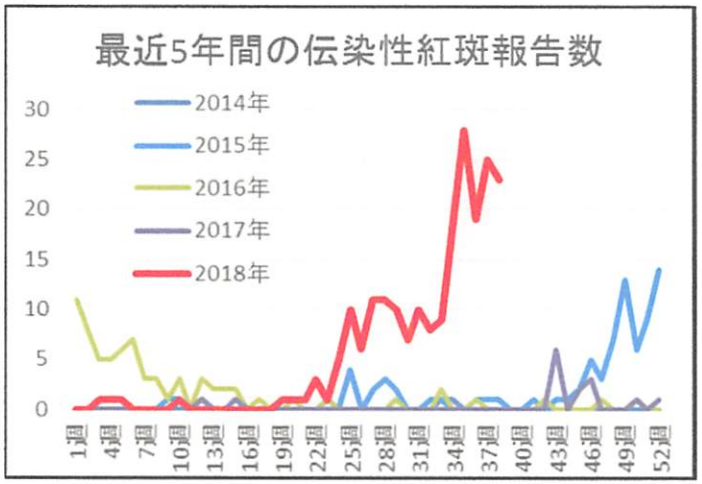
RSウイルス感染症は市内全域で流行しています。多くは感冒症状ですみますので全例には検査はしていません。乳児や呼吸困難のある症例でチェックしています。(保険適応は1歳未満ということで限定されています。)

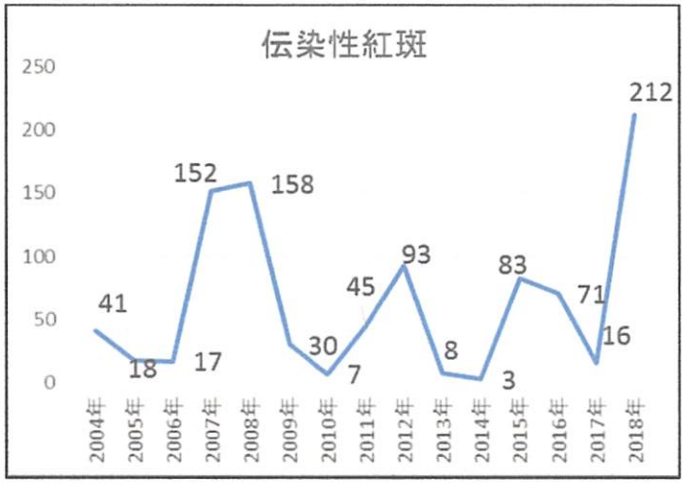
インフルエンザAは高松農業高校2年生で、東京への修学旅行で感染しました。感染拡大はありませんでした。

マイコプラスマ肺炎は、西中学区の小学生でした。

首都圏で風疹の流行が始まっています。多くはワクチン接種歴のない30～40代の男性がり患しています。

総社市では風疹ワクチンの助成制度があります。ぜひ麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)接種してください。





(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。　http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/)

三宅内科小児科医院　三宅真砂子